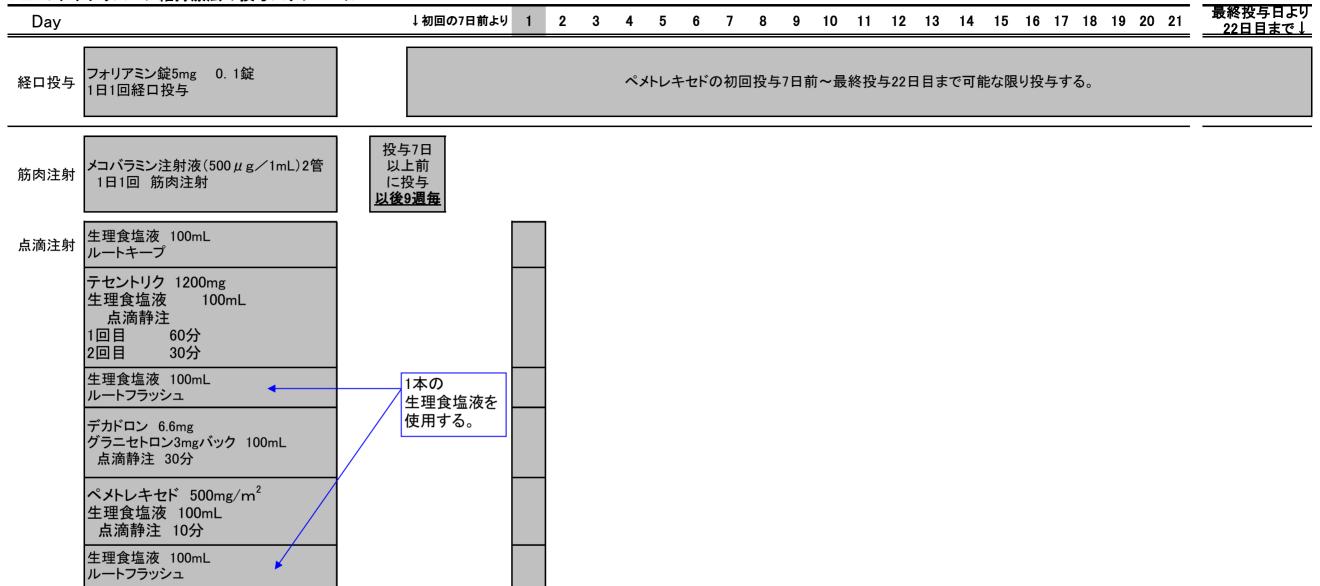
最終投与日より Day ↓初回の7日前より 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22日目まで↓ フォリアミン錠5mg 0.1錠 経口投与 ペメトレキセドの初回投与7日前~最終投与22日目まで可能な限り投与する。 1日1回経口投与 アプレピタントカプセル 分1 125mg 80mg 80mg テセントリク開始時に内服 (※アプレピタントカプセルを服用する際には、テセントリク開始時に125mgを服用する。 2日目、3日目は1日目に服用した時間と同じ位の時間に80mgカプセルを1カプセル服用する。) 投与7日 メコバラミン注(500 μg/1mL)2管 以上前 筋肉注射 1日1回 筋肉注射 に投与 以後9週毎 生理食塩液 100mL 点滴注射 ルートキープ テセントリク 1200mg 生理食塩液 100mL 点滴静注 1回目 60分 2回目以降 30分 生理食塩液 100mL 1本の ルートフラッシュ 生理食塩液を 使用する。 デカドロン 6.6mg グラニセトロン3mgバック 100mL 点滴静注 30分 ペメトレキセド 500mg/m² 生理食塩液 100mL 点滴静注 10分 カルボプラチン AUC 6 生理食塩液 250mL 点滴静注 60分 生理食塩液 100mL ルートフラッシュ

※テセントリクの投与時間の短縮に関して

初回投与時は60分かけて点滴静注する。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は30分で行っても良い。

※このカルボプラチン/ペメトレキセド+アテゾリズマブ療法は、通常4~6コースまでの投与であり、その後はペメトレキセド+アテゾリズマブで維持療法の継続となる。

◆投与継続スケジュール◆を参照(次ページ→)



※カルボプラチン/ペメトレキセド+アテゾリズマブ療法実施時に、既にアテゾリズマブの投与時間を短縮している患者に対してはそのまま短縮(30分間または60分間)で継続できる。